

あの部活に入りたい！  
気になる  
**部活調査隊**

「中学校には  
どんな部活があるんだろう？」  
そんな疑問に答えるため、  
いろいろな学校の名物部活を  
リサーチしてきました！



## そこが知りたい！ 調査ポイント



### 自慢

東京大学野球部の練習を見学する「キャンパスツアー」への参加など、一般的な中学の部活動としてはなかなかできないような体験ができることが自慢。



### 必須アイテム

スマートフォンのアプリを使って、試合や練習の映像を全員で共有している。課題を見つけ、次の試合や練習に活かすために欠かせないアイテム。



### 目標

中学時代に一つでも多く勝利し、高校で甲子園に出場することが目標。高校硬式野球部は昨夏甲子園準優勝の関東一高と大接戦を演じ、「謎の高校」として話題に。



## 芝中学校・ 高等学校

## 中学硬式野球部

設立 1993年  
部員数 36人  
活動日 火・水・金・土・日  
活動実績 リトルシニア連盟に所属し「芝シニア」として活動。2024年度は北海道開催の林和男旗杯に関東連盟代表として参加し初戦突破。



※中1・中2

## メッセージ

「野球が好き!」「楽しい!」という純粋な気持ちと、試合に勝つ喜びをぜひ味わってください。



### 顧問

小泉泰典先生(顧問)  
大澤雅仁先生(顧問)

### 部員

横山蒼十くん(中2・キャプテン)  
園田颯夫くん(中2・副キャプテン)  
(※2025年2月取材時)



野球はチームプレー。練習や試合を通して、仲間との大切さや協力する力を学ぶことができます。

# リトルシニアで鍛錬し、高校野球での活躍へつなげる

勝利を目指し心身共に  
確かな基礎力を培う

東京タワーとオランダ大使館のすぐ隣に立つ芝中学校。中学硬式野球部顧問の小泉泰典先生は「広いスペースが取れない校庭で、工夫しながら日々練習に励んでいます。硬式野球部がある中学校は、関東近郊では2校しかないのです。我が部はリトルシニア連盟に所属して、クラブチームと試合を行っています。全国優勝の常連など強豪チームと戦う経験は、レベルアップの力になります」と語ります。

普段の活動は、土のグラウンドではなく、ゴム製の校庭を他の部活と共有で使用。特にバッティング練習に力を入れていて、テニスボールを転がして打つ「ゴロ打ち」や、バドミントンの羽根を打つ練習なども取り入れています。普段から「どうすれば強いチームに勝てるのか」を考えながらトレーニングしているのだそう。

顧問になって6年目の大澤雅仁先生は「2年前から顧問に就任した小泉先生は、これまで監督やコーチを務めた学校で甲子園への出場や優勝にも尽力された方。小泉先生の経験を活かした指導のおかげで、チームの力が上がり、部員たちも自信がついてきたと感じています」と話します。

キャプテンの横山蒼十くんは「僕は小学校から軟式野球をやっていて、中学では硬式野球をやりたいと入部しました。先生たちが丁寧に指導してくれるので、初心者でも基本からしっかり学べます。リトルシニアで切磋琢磨できることも魅力です」とのこと。副キャプテンの園田颯夫くんは「出を聞くと「合宿で、練習の後にランメニュー10本を制限時間内に走り切ったことです。キツイ練習を経験することで、大事な場面の忍耐力が得られると思います。」「中学から高校まで6年間かけて体づくりができる、食事トレーニングを取り入れているのも大きな特長です」(小泉先生)